



私たちとお米を作ませんか！～「お米をつくれナイ」「お米をつくりタイ」そんな思いが重なって～

「故郷と似た景色を見てみたい」「天体観測をしてみたい」「米作りをしてみたい」「地元の方とお話してみたい」「きれいな空気をすってみたい」... 毎日なにかと忙しい中、ゆっくり時間が流れる田舎に憧れる人は多いのではないのでしょうか。今回、そんな思いをかなえる場所をご紹介します。

「一度お米を作ってみて！」
それを知った稲作農家の西山さんが声をかけ、山田さんは稲刈り体験をすることに。
それをきっかけに2年前の3月に地元の人たちと一緒に「富貴・筒香(つつが) 田んぼつくりタイ」を結成しました。

「田んぼつくりタイ」人が集合！
高野町で「富貴(ふき)の里元プロジェクト」という事業が行われ、定住スタッフとして横浜から山田亜紀子さんがやってきました。都会からやってきた山田さんには、一つしてみたい事がありました。

橋本市から車で約1時間、奈良県と和歌山県の県境にある峠道を超えた、高野町の山間にその集落はありま... 杉林と棚田に囲まれ、音といえは虫や動物の鳴き声だけの静かな場所です。
主に林業や農業が中心ですが、高齢化率63%になり、棚田を管理する人が少なくなってきました。



「こんな綺麗な空気と水で育ったお米、おいしくはないわけがないですね。本当に美味しくて、余分に購入したくらいです」と会員の皆さんも口ぐちにおっしゃいます。

は、三重県に引越し、月に一度は筒香に滞在しているそう。
和歌山市から通っている公務員の男性は、親子で活動に参加するようにになり、すっかり筒香の魅力に取りつかれ、頻りに通うようになり、様々な動機で集まった会員は今は40人を超えます。

「富貴・筒香田んぼつくりタイ」では会員・賛助会員・体験参加者を募集しています。
正会員年会費 2000円 (1家族) ※今年度の受付は終了
賛助会員 年会費 5000円 (筒香米 10キログラム)
活動日ごとの体験参加: 1回 500円 (ボランティア保険代他)
9月15日(日)・16日(祝日) 稲刈り体験募集。(締切8月31日)
富貴・筒香田んぼつくりタイ 事務局 電話・FAX: 0736-53-2232
メール ns2480-minoru@major.ocn.ne.jp
ブログ http://fuki-tsutsuga.cocolog-nifty.com/blog/

「こんな綺麗な空気と水で育ったお米、おいしくはないわけがないですね。本当に美味しくて、余分に購入したくらいです」と会員の皆さんも口ぐちにおっしゃいます。
そんななか、棚田の地主たちも休耕田の問題を所有者として考えるようになり、今年「筒香さとやま保全会」を結成、「田んぼつくりタイ」と共に休耕田となった棚田の復活を目指しています。

急ぐ事はない、長く続けていきたい
地元の農家で会長の久保さんは「この郷は1400年の歴史があり、先祖代々里山を守りつづけていました。この活動はまだ始まったばかり。続けていくことが大切だと思っています。高齢化63%といつても、住民票だけ置いて、街で暮らしている人も少なくありません。本当はもっと高齢化が進んでいるんです。若い人がこの場所に関心をもってくれ、手伝ってくれてくれると嬉しんです。」と話します。
「地元のお父さん、お母さんたちとの関係がなによりも魅力。この魅力は来てみないとわかりません。田んぼを作るだけじゃなく、人同士のつながりがすくく温かいんです。地元のお母さんが色々差し入れてくれたり、声をかけてくれたり、本当の家族のように接してくれます。都会では忘れ去られた日本の原風景がここにはあるんです。」
「ゆっくりでいいから継続してゆく、集落の歴史の重さと共にその言葉がとも印象に残りました。田舎に憧れをもっている皆さん、この夏一度上筒香を訪れてみてはどうでしょう? (植田祐起代)」

みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

●汗濁生石高原リレーマラソン
大会エントリーは締め切りでしたが、ぜひ会場で盛り上げて下さい。
日時 8月25日(日) 9:00スタート
場所 生石高原特設コース
内容 生石高原の1周 2.1km コースを小学生から一般、部門に応じて3～15周します。事前申告タイムにいちばん近いチームが優勝となります。
問い合わせ 汗濁(あせだく) 大学アスリートクラブ
備考 ブログもご覧ください
http://ameblo.jp/ikeike193/

●城の音(ね) サマースペシャル・夏の夜の調べ
天守閣展望階でのクラシックコンサートをお楽しみ下さい。
日時 8月31日(土) 17:30～
場所 和歌山城天守閣3階
内容 Hyclad による木管アンサンブルなど
参加費 コンサート観覧は無料ですが、天守閣入場料が別途必要です。
問い合わせ 和歌山市 和歌山城整備企画課 (073-435-1044) 城プロジェクト (080-1437-4171)

●命を守るための防災活動発表

会 防災「地産地消」展
命を守るための意識改革を、私たちと一緒に体験してみませんか。
日時 8月31日(土)・9月1日(日)
場所 和歌山ビッグ愛大ホール・9階会議室A
内容 命を守るための防災活動発表会、防災「地産地消」展(県内で生産されている防災用品等展示)
参加費 無料
問い合わせ NPO 法人震災から命を守る会 (電話 073-472-5619、FAX 073-476-4589)
備考 ブログもご覧ください (http://mamorouwakayama.iko-ra.tv)

●万葉歌枕妹背山越えウォーク
万葉の時代に思いを馳せつつ歌碑や故地をめぐるウォーク。
日時 9月1日(日) 9:10～16:30
集合場所 JR 笠田駅
解散場所 JR 名手駅
参加費 300円 (保険料等、昼食・飲料は各自準備)
行程 約8km
申込み 紀伊万葉ネットワーク事務局 (FAX 0736-22-2953・8月25日締切)

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

JI-MO TIMES Vol.4

妄想こそ力なり！

一般財団法人わかやま地元力応援基金

理事 藤戸佐千世さん

原点
小学生の頃から表現すること、特に絵を描くことが大好きな少女だった。デザイン系の高校を卒業後、紆余曲折を経て、二十三歳でタウン誌を発行している出版会社に就職した。制作スタッフとしてとことん和歌山と向き合った四年間の経験が、今の自分を支えている、と藤戸氏は言う。

機会として捉え方向性を模索するなかで、山崎亮氏が提唱するソーシャルデザインという考え方に会った。折しも同業の友人からの紹介で、特定非営利活動法人わかやまNPOセンターの寄付文化醸成事業の取り組みに関わるようになった。

「和歌山の魅力を伝える仕事をしたい。和歌山と正面から向き合えていない自分がいた。和歌山にどうして生まれ暮らしているのか、改めて考えるきっかけとなった。」

「気づけていない地元の可能性や課題を、そこに住む人たちにほっとけないと思わせる山崎亮さんはすごいと思った。」デザイナーとして、そして地元力財団の理事として、オセロを白から黒に変えていくように、一つひとつ変えていきたい、と藤戸氏は言う。

和歌山市在住。
デザイン事務所 NAP 代表。

地元力財団 わかやま地元力応援基金

メッセージ
これから三年間はいろんな切り口で和歌山を取り上げたい。顧客の要望に応えデザインしていくことに加え、自ら企画を考えプロデュースしていきたい。今年五月に開催した「わかやマルシェ」もそのひとつ。かつての自分と同じように、地元・和歌山のことを好きになれる、正面から向き合えない人たちに對して、気軽に参加できる機会を作りたい。

和歌山と関わるチャンスはもつとたくさんあると思う。そのため日々、妄想(イメー)ジすることが大切。その妄想を口にするこゝとで実現に近づくと

640-8331
和歌山市美園町 5-6-12 (みその商店街東通り)
Tel.073-428-0011 Fax.073-428-0012 URL www.jimotofund.com

取材: 出原敬介
編集: 児玉夏希